

千葉県の公立中で成績分布ばらつき

「半数が5」の一方で「5がない」学校も！

内申点に直結するからこそ「学校ガチャ」の是正を！

一般質問から



公立中学校に通う児童生徒たちは、誰一人5をつけない先生や2割以上に1をつける先生を避けることはもちろん、6割以上に5をつけてくれる先生を選ぶことはできません。

まさに「教師ガチャ」、運頼みです。

高校入試は学力検査の500点と内申点(9教科×5段階評価×3年間)の135点と内申点は学校によっては20%のウエートを占めるなど進路に直結します。(※他にも部活動などの成績で0~50点)



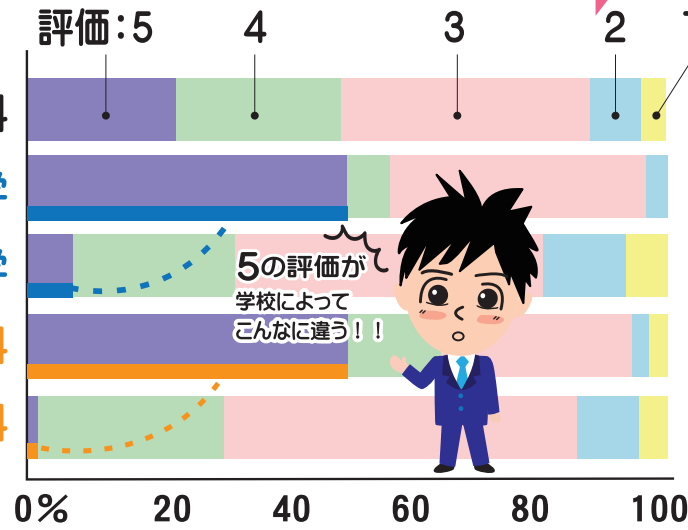
公立高入試における合否判定方法

5段階評価

県内の公立中学校別 成績分布の例

- ① 学力検査 (500点)
- +
- ② 内申点 (135点×K)
※Kは各校が0.5~2の範囲で設定
- +
- ③ 部活動の成績など (0~50点)
- +
- ④ 学校設定検査 (10~150点)
- ||
- ①~④の合計点 (577.5~970点) で合否を判定

県平均:全教科
 A中学:数学
 B中学:数学
 C中学:技術・家庭科
 D中学:技術・家庭科



そこで、高校入試に直結する内申点における学校間の格差是正を求めました。「良い子だから」、「自分の部活に入っているから」、「暗いから」、「自分に懐いていないから」といった主観や気分で評価をつけては絶対になりません。ですが、県内全ての中学校を分析する中で、残念ながら適正な評価になっていないのではと思わざるを得ない極端な成績の付け方がなされていました。

これは教員間の評価視点や意識に乖離があることの証左です。政治家となる以前、わたしは予備校講師として子どもたちを教え、受験指導をしてきましたが、試験の点数は同じなのに、内申点の差で涙をのんだ生徒を目の当たりにしてきました。

どの学校に通っていても、どの教員に教わったとしても、中学校生活が適切に判断され、高校受験という節目に、同じスタートラインに立たせてあげるべきであり、内申点に過度に依拠しない受験制度も検討すべきです。千葉県に改善を求めた学校間における評価格差の一般質問については、読売新聞に大きく取り上げられ大きな反響を呼びました。

「中学校間の評価格差」の問題は市議時代から取り組み、県議会議員としても、いの一歩で取り上げるべく調査していました。これからも、政策で注目される政治家として力を発揮していきたいよう努力してまいります。

「読売新聞」に大きく取り上げられました！
「Yahoo!ニュース」の全国版に掲載されました！

拡大がこちら

公立中成績分布ばらつき
内申点に直結不公平

Y7ニュース
千葉県の公立中で成績分布ばらつき、「半数が5」の一方で「5がない」学校も、内申点に直結し「学校ガチャ」の声

「あり方検討を」
首都圏で学習塾を展開する「市連」(市川市)の児玉修高副校長は、「積み重ねる内申点は、日々のモチベーションにもなるため、一概に否定はできない」と語る。

そのうえで児玉副校長は、千葉県は入試の得点全体に占める内申点の比重が他県より低く、割合が1割程度の高校もあると指摘。「中学校間のばらつきは一定程度、考慮された仕組みとなっているのではないか」との見方を示す。

成績評価を基にした内申点を使う高校入試のあり方には、懸念があるとの意見もある。教育研究家の妹尾昌俊さんは、「内申点による評価自体の廃止や試験方法の多様化も含め、公立高校入試のあり方を一から考えるべきだ」と指摘する。

◆内申点=各教科の成績を5段階で評価した点数の合計点を、都道府県が定めた計算方法で算出した数値。公立高校入試では学力検査の得点とともに合否判定に使われ、比重は各都道府県で異なる。評価のばらつきへの懸念などから、比重は全国的に低下傾向だ。



千葉県から拓く成田新時代！

あましんレポート



千葉県議会議員

雨宮しんご

2月定例千葉県議会が開会しました。県議会議員として初となる一般質問に臨み、予算委員会に登壇しました。これも全て、議席を託してくださった皆様のお陰であり、その重責と感謝の気持ちでいっぱいになりました。一般質問では空港検疫体制の強化、成田空港政策、空港周辺まちづくり、国際物流施設整備、教育問題、子育て支援、福祉、千葉県PRなどを取り上げ、熊谷俊人知事からは前向きな答弁をいただきました。今後も弛むことなく地域の声に耳を聴け寄り添いながら、勉強し、努力を続け課題解決に取り組んでまいります。また、当日は成田市からたくさんの方が応援に駆けつけて頂き励みと元気をいただきました。新年度も千葉県から成田を拓く成田新時代に向けて奔走してまいります。



県内初！ 成田市立三里塚小学校赤煉瓦門が「県登録文化財」に選出！

成田市立三里塚小学校赤煉瓦門が千葉県登録文化財に登録されました。建造物としての登録は県内で初めてです！明治時代に三里塚に駐屯していた旧陸軍鉄道第二大隊の門が移築されたようです。明治期のレンガ造りの構造物が残っていることは希少なことから、大切に保存され、これからも長く地域に親しまれることを期待します。

海を走ろう~アクアラインの風に乗って~



ランナー初心者のわたしもハーフマラソンへエントリーしました！皆さんと一緒に走れることを楽しみにしています！
練習しなごや

隔年開催をしている「ちばアクアラインマラソン」の開催日が2024年11月10日(日)に決定しました！

「ちばアクアラインマラソン」は、東京湾アクアラインから海を渡るまでの東京湾アクアブリッジを走ることができる唯一のマラソン大会です！

開催日 2024年11月10日(日)
 開催地 千葉県木更津市/袖ヶ浦市
 種目 フルマラソン 12,000人/ハーフマラソン(車いす含む)5,000人
 参加費 フルマラソン 16,500円/ハーフマラソン 13,500円
 申込期間 2024年3月22日(金) ~ 5月9日(木)

プロフィール

- 45歳・2児の父・犬2匹
- 2023年千葉県議会議員
- 成田市議選4期連続トップ当選
- 第41代成田市議会議長
- 明治大学公共政策大学院修了(修士)
- 日本サーフィン連盟公認インストラクター
- 商工労働常任委員会 委員
- 印旛沼水質保全協議会 顧問
- 千葉県資源エネルギー問題懇話会
- 千葉県議会観光立県推進議員連盟
- 千葉県議会動物愛護議員連盟
- 千葉県議会首都圏中央連絡自動車道推進議員連盟



LINE 公式アカウント 友達募集中です！



公式ホームページはこちら ama-shin.net

雨宮しんご事務所
〒286-0012 成田市山口1210-205 ☎070-3131-0057



防災県の確立・くらし安全 587億54百万円

一般質問で
取り上げました！

- 市町村における自助・共助の取り組み
災害対応のデジタル化を促進
市町村が実施する事業において
令和5年度から7年度までの3年間で集中的に支援
2億5千万円
- 災害発生時の情報伝達・収集体制を強化
老朽化した防災行政無線を計画的に更新
約43億3千万円
- 災害ボランティアセンター運営支援
ICTツールの導入支援
1800万円
- 自転車乗用ヘルメット購入補助事業
3900万円
- 歩道整備や信号機・道路標識の設置
信号機のLED化
通学路の安全対策
116億円



自然・文化を生かし「千波県」を発信 129億81百万円

- 特定外来水生植物対策として
印旛沼などで急繁殖するナガエツルノゲイトウを駆除
7億4千万円
- 住宅用太陽光発電設備のリースによる導入を支援
5億2700万円
- ちばアクアラインマラソンの開催
1.4億円
- 魅力ある千葉の海「千波県」のブランディングと発信
1.8億円



医療・福祉の充実 393億18百万円

新たな感染症に対応する体制の構築 **8.4億円**



動物愛護センターの収容動物に対し
外部獣医師が治療を行い譲渡促進
殺処分削減を推進 **1000万円**

猫の不妊・去勢手術が使いやすくなります！

新年度から、市町村分け隔てなく地域猫の不妊・去勢手術費用
(総額25万円を上限)を実績に応じて補助！
団体(3名以上)要件も撤廃し個人でも受けられます！



介護事業者の業務改善
障害者グループホームの開設
運営相談支援体制を強化 **11億1400万円**

重度の強度行動障害の方を受け入れる
短期入所施設の改修支援 **4800万円**

医療的ケア児の特別支援学校への
通学支援体制の構築 **2900万円**

千葉経済圏の推進・農林業の振興 4987億44百万円

成田空港周辺地域
新たな産業拠点の創出
魅力的な住環境の整備に向けて検討を進める **1億2千万円**

県内への企業立地を促進
立地企業補助金を拡充 **6億3千万円**

中小企業の高度化
生産性向上に向けた設備投資支援 **22億円**

デジタル技術の新たな取組を支援 **1.2億円**

小規模事業者等への伴走支援を強化
商工会・商工会議所等の体制を充実 **28億2千万円**

外国人材の円滑な受け入れを支援 **2千万円**

インバウンドの回復から成長へとつなげるため
外国人体験プログラムを支援
成田空港内に観光情報窓口の設置 **3710万円**

サツマイモの生産拡大に向け施設整備を支援 **1億6千万円**



全国一位を誇る梨の担い手確保
生産規模の拡大を支援 **910万円**

飼料用米への転作推進
輸出用米に向けた機械導入支援 **4億9千万円**

大規模農業経営を支援するため
農地中間管理機構を活用した農地集積を推進 **6億7千万円**

新規就農者への資金を支援
県産農林水産物の輸出を促進するため
輸出バイヤーとのマッチングや専門家による支援 **14億7千万円**



北千葉道路・銚子連絡道路
長生グリーンラインなど
道路ネットワークの整備を推進
橋りょうの老朽化・耐震化対策や通学路の安全対策を強化 **1165億円**



子育て・教育の振興 1065億60百万円

教員不足対策として
教員採用プロモーション実施
日本学生支援機構からの奨学金返還の経費を支援 **6670万円**

教員の長時間勤務を改善するため
全公立小中学校に
スクール・サポート・スタッフを配置
【小中学校949人、特別支援学校36人】 **13億7千万円**

いじめ、不登校の解決に向け
スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを増員
不登校児童生徒の学びの機会を確保するため
オンライン授業の実施
フリースクールとの連携体制の構築 **14億3千万円**

部活動の地域移行に向け
スポーツ団体や文化芸術団体等の整備
指導者確保の実証事業 **2億5千万円**

県立学校トイレ改修事業 **11億8千万円**

児童手当
令和6年10月分から高校生年代まで支給対象を拡充
第3子以降の手当を3万円に増額
支給回数も年6回へと倍増(所得制限撤廃) **122億5千万円**

子どもの自然体験活動の推進 **4500万円**

こども食堂の自立支援ネットワークの構築 **600万円**

児童相談所の機能強化 **12億4千万円**

児童虐待防止対策事業 **7億3千万円**

多様性が尊重される分かり合える社会へ 36億5百万円

障害のある方の環境づくりのため
県立高校エレベーター設置 **3600万円**

外国人材の就労促進に向けたセミナー開催
義務教育年齢を超過した外国籍の子供に対し
高校就学の指導を行う団体への支援 **2500万円**

生活困窮者へ食品を提供する
フードバンクのネットワーク構築への支援
中核地域生活支援センターにおけるICTツールの導入
AIによる福祉相談窓口の設置 **4億6千万円**



特別養護老人ホームの老朽化対策＆新設を推進しています！

県内の特別養護老人ホーム利用者数は28507人(R5.4月)、待機者数は10708人(R5.7月)となっています。

千葉県では現在

令和4年度 既存施設改修20施設・新規設置11施設
令和5年度 既存施設改修11施設・新規設置20施設
と事業を推進しています。



特別養護老人ホームは依然として待機者も多く、それに加えて入所者全体の7割が低所得者となっています。財源や介護人材の確保、多様化するニーズへの対応など山積する課題と向き合いながら、引き続き、地域に必要な不可欠な施設の改修や整備を推進してまいります。